

令和5年度
空知総合振興局農業農村整備事業環境情報協議会
議事録

●日時 令和5年8月9日（水） 14:30～16:30

●場所 空知総合振興局 5階会議室

●出席者

環境情報協議会委員

- ・拓殖大学北海道短期大学 教授 山黒 良寛（座長）
- ・地方独立行政法人北海道立総合研究機構 中央農業試験場 研究主幹 細淵 幸雄
- ・地方独立行政法人北海道立総合研究機構 さけます・内水面水産試験場 主査 佐々木 典子
- ・NPO法人栗山町ハサンベツ里山計画実行委員会 委員長 高橋 慎
- ・農業（岩見沢市） 平田 学
- ・農業（栗山町） 寺島 晃一

空知総合振興局産業振興部

- ・調整課 高瀬課長、渡辺主幹、向係長、山科主査、高橋主査、野田主事、本田技師、倉田技師、庄田主事、山田技師
- ・整備課 須藤課長

●議事概要（◇委員、◆振興局）

全体概要

意見など特になし

幌内東

- ◇ 「マオイ（馬追）」はアイヌ語で「はまなすの実が多くある所」を意味する。地名の由来になっている「はまなす砂丘」を保全することについて、環境配慮調書に記載してほしい。

御園中部

- ◇ 現地調査結果はどこに記載されているのか？
- ◆ 調査写真として示している。
- ◇ 写真で示した動植物だけが、現地で確認できた物なのか？
- ◆ これ以外にも植生はありましたが、代表的な物として示しています。
- ◇ 文献調査として記載のある動植物が、この地区で生息している物と判断していいのか？
- ◆ 町のマスタープランに基づき、町全体で生息している物を記載しており、地区内の物を抜き出した物ではない。
- ◇ 昨年、出席した際にも思ったことだが、地域の小学校などと連携して調査することは出来ないのか？
- ◇ 調査内容を見ると、調査点数が少なすぎると思う。調査点数を増やした方が、代表的な物を抽出するにはいいのではないか？
- ◆ 調査点数が多い方が分かり易いのは言われる通りです。

- ◇ 写真だけでは、いつ調査した物かわからない。最低でも春と夏に調査しないとデータとして成立しない。
- ◇ 装工された水路や除草剤の散布された箇所を調べても、動植物がないのは当たりまえ。
- ◇ 全地区で行う必要もないが、地域の人達と一緒に調査したらいいのではないか？
- ◇ 環境配慮の特徴的な箇所を委員と共に調査したり、耕地出張所の協力も得てやっていったら、プラスアルファされていいのではないか？
- ◇ 調査内容に係る意見は昨年度もてた案件でいいか？
- ◆ そうです。
- ◇ 積み残しの案件で、出来るのか出来ないのか回答しないと、来年度も同じ話になる。
- ◇ もっと楽をして沢山の情報を集められる方法を探したほうが便利じゃないか。
- ◇ 雨上がりみたいな時に調査している写真があったりする。
- ◇ 地区に協力してくれるところがあるならば、お願いして一緒にやれば地区の方でも勉強になる。
- ◇ 大事なものは、この調査データで本当に大丈夫なのかということ。例えば、マスタープランに載っている昆虫が現地で確認できた写真ならいいが、マスタープランに載っていない昆虫の写真が示されている。そうすると調査がどう行われたのか？ 一過性で、たまたまいたのか？ そこに生息しているのか？ 科学的データとして根拠が薄くなってしまう。
- ◆ 予算を使って調査するのは難しいところですが、アドバイスも頂いたので調査のやり方を考えながらやっていければと思います。
- ◇ 調査については、振興局職員単独ではなく、知っている人に聞いたり、一緒になって行えれば、少ない予算でも可能ではないかということ念頭に置いて考えてもらいたい。

妹背牛4区第3

- ◇ 生物調査と関連するが、闇雲にこういった生物が生息するというふうには示すのではなく、この資料のストーリーに則って調査した方がよいのではないか。具体的には、地区の工種で排水路工事をする時に、地区内の排水路は、いずれ大きな排水路や河川に接続するが、工事の際に雨が降ってしまうと、土砂が流出するので、その部分にこんな生物が生息しているなど、環境インパクトのある地点に絞り込んで調査してはどうか？ 地区全体で生物調査するよりは楽に調査ができるのではないか？
- ◇ 例えば、1地区目の幌内東地区であれば、はまなす砂丘の周辺農地で暗渠排水工事をしたら、全般的に地下水位が下がり、はまなす砂丘の植生が変わる可能性がある。そのインパクトのあるような所に絞り込んで調査した方が、この資料のストーリー的に分かりやすいものになる。

渭の津2

意見など特になし

上多度志

意見など特になし

幌 豊

- ◇ 隣接地の整備状況を図面に書き込むことは可能か？ 例えば市街地や整備状況は可能です

か？

- ◇ 地区の概要図だけでは、排水の流入先がどこなのかイメージがつかなかった。整備済なのか未整備なのかによって、生物の見方も変わると思う。周辺の整備状況等が分かるようにしてほしい。
- ◆ 既存資料（基盤整備状況図）で把握することが出来るため、その資料を活用する。

稔北中央

意見など特になし

古 川

意見など特になし

道営幹線

意見など特になし

その他

- ◇ 時期によっては水が流れていないこともあり、文献調査で記載されている魚類が本当に生息しているのか疑問に思う。魚類については表現の方法について御検討願いたい。
- ◇ 地形を大きく変える運土作業（区画整理）を行うと、生物の生息が大幅に変わると思うので、そういう箇所が分かる用に記入（運土量や高低差など）してほしい。
- ◆ 規模感が分かるように表現方法は工夫していきたい。
- ◇ 用水の利用期間（通水期間）を記入してほしい。

以 上